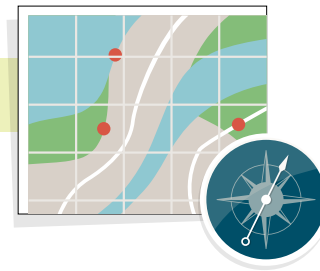


- 防災ブックは、見やすい場所に置き、常に確認できるようにしてください。
- 防災ブックに表示してある危険箇所については、洪水、土砂災害、浸水、高潮等の発生する可能性のある場所を示しています。自宅周辺の危険箇所を確認しましょう。
- 避難する場合に備え、最寄りの指定避難所や親戚・知人の家などを確認しておきましょう。

ステップ 1 自宅周辺の「災害リスク」を知りましょう。

自宅周辺に洪水・高潮浸水想定区域及び土砂災害区域があるのか確認しましょう

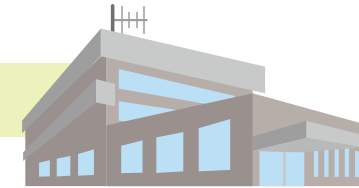
▶ 31～52ページ 洪水・土砂災害・高潮ハザードマップ



ステップ 2 自宅周辺の「最寄りの避難所」を知りましょう。

避難所一覧から確認しましょう ▶ 27～28ページ 避難所一覧

ハザードマップから確認しましょう ▶ 31～52ページ 洪水・土砂災害・高潮ハザードマップ



ステップ 3 非常持ち出し品・備蓄品を知りましょう。

非常持ち出し品・備蓄品を確認しましょう

※家族構成で持ち出し品は変わります

▶ 19～20ページ 非常時持ち出し品・備蓄品の準備&チェック



ステップ 4 その他防災情報を確認しましょう。

市役所及び各関連省庁が発信する正確な情報を確認しましょう

▶ 21～22ページ 防災情報の収集



オリジナルマップの作成

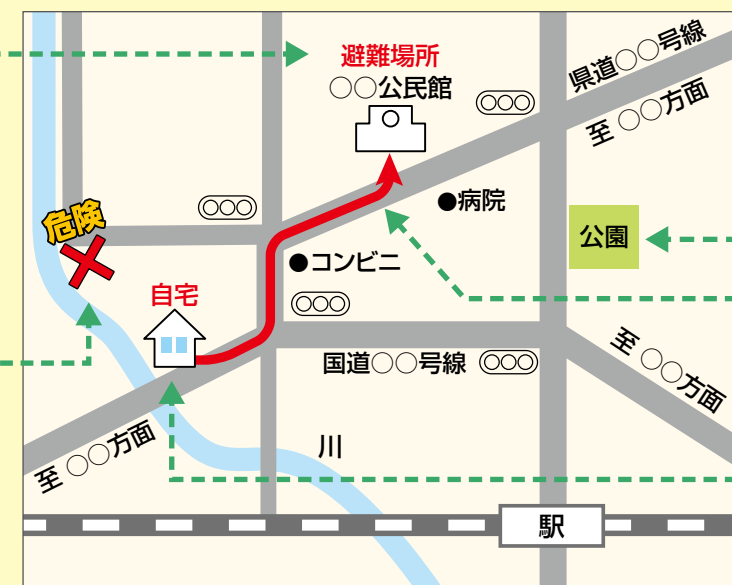
家族で話し合ったことなどもふまえ、自宅から指定避難所や親戚・知人の家など避難する場所までの経路や危ない場所などを記載したオリジナルマップを作成し、家族で共有しておきましょう。

指定避難所等

災害が起きたときに避難する場所をあらかじめチェックしておきましょう。

危険な場所

川の近くなど、洪水時に危険となるような箇所には印をつけておいて、その道は通らないようにしましょう。



目印となる場所

避難経路上で目印となる箇所を書き込みましょう。特に曲がり角には分かりやすい目印を書き込みましょう。

避難経路

指定避難所等までの経路を書き込みましょう。

自宅

あなたの自宅を書き込みましょう。

避難について考えましょう

避難しようとするのは「あなた自身」です。過去の災害で大丈夫だったからといって安心できません。避難することで助かるのは、「あなたの命」であることを強く認識してください。

ハザードマップを確認しましょう！

危険地域の中や周辺にお住まいの人

周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。

危険地域の外にお住まいの人

自宅での安全確保のための備えや、周辺の避難所や避難経路を確認しておきましょう。

「指定避難所」以外への避難も

避難先は学校・公民館などの指定避難所だけでなく、より安全な近くの親戚や知人の家、ホテルなどを自主避難先として検討しましょう。

避難行動

避難行動には大きく2つの考え方があります。

①立退き避難(水平避難)

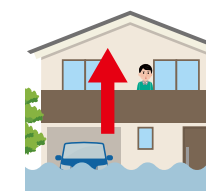
安全な場所まで立退き避難



※夜間に大雨が予想される場合は、明るい時間帯に避難をすませておくことも大切です。

②屋内安全確保(垂直避難)

自宅内の高い場所へ避難



がけや山から離れた部屋へ避難



避難を判断するための情報(警戒レベルと防災気象情報)

近年発生した豪雨災害を教訓とし、国は下記の通り「避難勧告等に関するガイドライン」を改訂し、水害・土砂災害について、市町村が出す避難情報と、国や都道府県が出す防災気象情報を、5段階^{*1}に整理しました。

| 避難情報等 | | | 防災気象情報 | | |
|---------------------------|---|--|------------------------------|----------------|----------|
| 警戒レベル | 避難行動等 | 自治体発令の避難情報 | 警報等 | 警報の危険度分布 | 指定河川洪水予報 |
| 警戒レベル5 命を守るための最善の行動をとる | 既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとります。 | 災害発生情報 災害が実際に発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令 | 大雨特別警報 ^{*2} | | 氾濫発生情報 |
| 警戒レベル4 危険な場所から全員避難 | 速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内のより安全な場所に避難しましょう。 | 避難勧告 避難指示(緊急) 地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令 | 土砂災害警戒情報 | 極めて危険 非常に危険 | 氾濫危険情報 |
| 警戒レベル3 危険な場所から高齢者等は避難 | 避難に時間を要する人(ご高齢の方、障がいのある方、乳幼児等)とその支援者は危険な場所から避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。 | 避難準備・高齢者等避難開始 | 大雨警報 洪水警報 | 警戒(警報級) | 氾濫警戒情報 |
| 警戒レベル2 | 避難に備え、ハザードマップ等により、自らの避難行動を確認しましょう。 | | 大雨注意報 ^{*3} 洪水注意報 | 注意(注意報級) | 氾濫注意情報 |
| 警戒レベル1 | 災害への心構えを高めましょう。 | | 早期注意情報(警報級の可能性) | | |

※1 各種の情報は、警戒レベル1～5の順番で発表されるとは限りません。状況が急変することもあります。

※2 大雨特別警報は、洪水や土砂災害の発生情報ではありませんが、災害が既に発生している可能性が極めて高い情報として、警戒レベル5相当情報[洪水]や警戒レベル5相当情報[土砂災害]として運用されます。ただし、大雨特別警報が発表されても、自治体より必ずしも避難情報の発令等されるものではありません。

※3 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、警戒レベル3に相当します。